

第1回：即効入門編 MELIC2階 情報学習室

「ただの感想文じゃダメだったのか!?’の巻

—テーマ選択・事前調査・仮アウトラインのポイント—

講師：総合教育センター 仁上幸治 (にかみ・こうじ)

まず伝えたいことを明瞭に短く表現してみよう

—箇条書きの主張を論理的につなげて並べるとはっきりする—

【1】ビデオ教材紹介

LIBRARY VIDEO SERIES 情報の達人 DVD 全3巻／総合監修：社団法人日本図書館協会／監修：仁上幸治（早稲田大学）・野末俊比古（青山学院大学）／制作協力：株式会社モンタージュ／製作：株式会社ボルケ／企画・発行：株式会社紀伊國屋書店／全3巻セット：特価¥105,000（税込）、各巻価格 ¥36,750（税込）／合計ビデオ 227分、スライド 436枚、テキスト 132ページ（別売 各¥315）紀伊國屋書店『情報の達人』ホームページ (<http://www.kinokuniya.co.jp>)

■第1巻 図書館へ行こう！： インターネット時代の情報活用入門

- 第0講 総論 図書館へ行こう！
- 第1講 大学で学ぶということ
- 第2講 情報リテラシーは学習の基盤
- 第3講 問題解決のための情報活用
- 第4講 さまざまなメディアと情報源
- 第5講 情報の整理・分析と加工・発信
- 第6講 図書館のコレクション
- 第7講 図書館で資料・情報を探す
- 第8講 図書館サービスのいろいろ
- 第9講 図書館は世界に広がる窓
- 第10講 「情報の達人」をめざして

■第2巻 ゼミ発表をしよう！： テーマ選びからプレゼンテーションまで

- 第0講 総論 ゼミ発表をしよう！
- 第1講 情報リテラシーの意義
- 第2講 情報を探し出す仕組み
- 第3講 データベース検索の手順と手法
- 第4講 データベースを使いこなす

- 第5講 資料の保管と分類
- 第6講 資料の評価と情報の分析
- 第7講 プレゼンテーションの準備
- 第8講 プレゼンテーションに臨む
- 第9講 著作権を守る
- 第10講 セキュリティを高める

■第3巻 レポート・論文を書こう！： 誰にでも書ける10のステップ

- 第0講 総論 レポート・論文を書こう！
- 第1講 レポート・論文の作成手順
- 第2講 テーマの選択
- 第3講 事前調査と仮アウトライン
- 第4講 関連文献の調査
- 第5講 データベースの検索
- 第6講 視聴覚・電子メディアの調査
- 第7講 アンケートとインタビュー
- 第8講 文献の読解と執筆
- 第9講 出典の表示
- 第10講 仕上げ

【2】概要：テーマ選択・事前調査・仮アウトラインのポイント

・出典：ビデオ『情報の達人』(仁上・野末監修)第3巻「レポート・論文を書こう！：誰にでも書ける10のステップ」紀伊國屋書店,2007

第1講 レポート・論文の作成手順

●スライド 1/11
情報の達人 第3巻 レポート・論文を書こう！
第1講
レポート・論文の作成手順

●スライド 2/11
第1講の内容
レポート・論文の基本的な作成手順
(1)レポート・論文とは
(2)レポートの種類
(3)レポート・論文作成の10のステップ

●スライド 3/11
(1)レポート・論文とは

●スライド 4/11
レポート・論文の目的
・学習、調査、研究などの成果を表現
・読んでもらう
・わかってもらう

●スライド 5/11
(2)レポートの種類

●スライド 6/11
さまざまなレポート
・授業の内容
・指定された文献の内容
・指定された実験・実習の経過・結果
・自分で設定したテーマの調査・研究の
成果(論文形式) など

●スライド 7/11
(3)レポート・論文作成の10のステップ

●スライド 8/11
10のステップ
ステップ1 テーマの選択
ステップ2 事前調査
ステップ3 仮アウトラインの作成
ステップ4 関連文献の調査
ステップ5 文献の入手

●スライド 9/11
10のステップ(つづき)
ステップ6 文献の読解と整理
ステップ7 最終アウトラインの作成
ステップ8 執筆・校正
ステップ9 出典の表示
ステップ10 仕上げ

●スライド 10/11
レポート・論文を書きあげるには
・知識・技能…ステップごとに
・メタ認知…「今、どのステップにいるか」「次にどのステップ
に進めばいいのか」
を把握・判断

●スライド 11/11
第2講のまとめ
レポート・論文を書くには手順が大切

第2講 テーマの選択 ステップ1

●スライド 1/12
情報の達人 第3巻 レポート・論文を書こう！
第2講
テーマの選択 ステップ1

●スライド 2/12
第2講の内容
テーマの選び方
(1)テーマを決める
(2)考えを整理する

●スライド 3/12
(1)テーマを決める

●スライド 4/12
「よいテーマ」を選ぶ
・広すぎず、狭すぎず
・調査・研究の意義がある
・三つの手順で

●スライド 5/12
手順1 話題(トピック)を選ぶ
・授業で学んだことから
・生活のなかから
・自分の関心などに応じて

●スライド 6/12
手順2 問題を設定(提起)する
・話題について
・何が問題なのか
・なぜ問題なのか

●スライド 7/12
手順3 主張(仮説)を組み立てる
・問題に対して
・言いたいこと
・知りたいこと

●スライド 8/12
(2)考えを整理する

●スライド 9/12
テーマをはっきりさせる
・文章・箇条書き・キーワードにする
・図表・イラストにする
・先生・友人と会話をする
・図書・雑誌・新聞・テレビなどを眺める

●スライド 10/12
発想法・論点整理法
・ブレインストーミング
・KJ法

・ウェビング法
など

●スライド 11/12
テーマを考えたときの道具
・ノート
・情報カード
・パソコン
など

●スライド 12/12
第 2 講のまとめ
適切なテーマを選ぶことが重要

第 3 講 事前調査と仮アウトライン ステップ 2～3

●スライド 1/10
情報の達人 第 3 巻 レポート・論文を書こう！
第 3 講
事前調査と仮アウトライン ステップ 2～3

●スライド 2/10
第 3 講の内容
テーマが決まったらすること
(1)事前調査
(2)仮アウトラインの作成

●スライド 3/10
(1)事前調査

●スライド 4/10
事前調査をする
・テーマの全体像を把握
・基本概念・用語を理解
・専門用語も整理

●スライド 5/10
事前調査の情報源
入門書・概説書・教科書
年鑑・統計・白書
ハンドブック・事典・辞書
など

●スライド 6/10
(2)仮アウトラインの作成

●スライド 7/10
仮アウトラインを作る
・「あらすじ」(骨子)を考える
・主張を理解してもらうために
・どんな材料を使うか
・どんな順序で並べるか
・できあがり(構成)を想定して

●スライド 8/10
レポート・論文の構成例
・序論…研究の背景・動機、目的、方法
・本論…調査経過・結果、分析、考察
・結論…主張、課題、展望

●スライド 9/10
あくまで「仮」のもの
・箇条書きで
・キーワードだけでも可
・詳しくても可
・あとで修正

●スライド 10/10
第 3 講のまとめ
テーマを決めたら「下調べ」をして「あらすじ」を書く

【3】仮アウトラインの構成

①序論…レポート・論文の「導入」部分です。主に次の事柄を書きます。

- ・研究の背景や動機…なぜこのテーマを取り上げるのか、何が問題なのか(問題提起)など
- ・研究の目的…何を明らかにしようとしているのか(主張・仮説の提示)など
- ・研究の方法…どのような調査を行うのかなど

②本論…レポート・論文の中心になる部分です。主に次の事柄を書きます。

- ・調査などの経過や結果…調査などをしてどうだったのかなど
- ・結果の分析…結果はどのように解釈できるかなど
- ・分析を踏まえた考察…目的に照らしてどのようなことがいえるかなど

③結論…まとめです。主に次の事柄を書きます。

- ・主張…問題に対する「答え」は何か(仮説は適切だったのか)など
- ・残された課題…やり残したこと、明らかにできなかったことなど
- ・今後の展望など…次にやるべきこと(やってみたいこと)など

【4】仮アウトラインの見本 (仁上作成:増補第2版 2011)

テーマ: クサガメ

タイトル: クサガメの意外な生態—マイペースな暮らし方を学ぼう—

①序論

・研究の背景や動機 (問題提起など)

新宿の路上でカメを拾った。飼っているといろいろな意外な事実がわかってくる。どういう動物なのか、どんな飼い方が適切なのか、飼うことによって、人間の生き方に役立つ教訓があるのではないかな?

・研究の目的 (主張・仮説の提示など)

主張

クサガメの生態、歴史、飼育理論を整理し、誤解を明らかにし、ヒトとカメの新しい付き合い方を提案したい。

仮説の提示

- 1) カメは意外に素早い
- 2) カメは遊ぶ
- 3) カメは偏食である

・研究の方法 (調査など)

文献調査

飼育体験記録の収集

ブログでの飼育体験者ネットワークによる情報収集

②本論

・調査などの経過や結果

一般に人が良く知らないカメの誤解にはこういうものがある。(カメはノロい/カメは遊ばない/カメは何でも食べる雑食性、など)

飼育法にも誤った通念にもとづくものがある(カメは水槽に入れておけばよい/カメは遊ばせなくて良い、など)

・結果の分析

カメに関する人間の常識には疑わしい面がある。
飼育法にも間違いがある。

・分析を踏まえた考察

カメともっと楽しく付き合う方法がある。

③結論

・主張 (問題に対する「答え」は何か (仮説は適切だったのか) など)

- 1) カメは意外に素早いことが確認できた。
- 2) カメは遊ぶことが確認できた。
- 3) カメは偏食であることが確認できた。

・残された課題

外国の文献調査

クサガメ以外のカメの種類についての同様の飼育実態調査

・今後の展望など

ブログの開設による飼育者ネットワークの構築と情報交換

図書としての出版による問題提起

賛同者の拡大による共同研究の推進

【5】PC 操作の基本

(1)役に立つショートカットキー

コピーしたい文字列をドラッグした状態で、次のキーを押す。

- 1)コピー: [Ctrl]+[C]
- 2)切り取り:[Ctrl]+[X]
- 3)貼り付け:[Ctrl]+[V]
- 4)元に戻す:[Ctrl]+[Z]
- 5)全部選択:[Ctrl]+[A]
- 6)ブラウザで新しいウインドウを開く: [Ctrl]+[N]

(2)使えるソフト

- (4)メモ帳: [スタート]>[すべてのプログラム]>[アクセサリ]>[メモ帳]

【6】文献案内

◎レポート作成・文献探索

- 1)伊藤民雄『インターネットで文献探索2010』日本図書館協会、2010.
- 2)『思考のためのインターネット—厳選サイト800』アリアドネ編、筑摩書房、1999.08(ちくま新書)¥660
- 3)山内志朗『ぎりぎり合格への論文マニュアル』平凡社、2001.9
- 4)澁谷恵宜『卒論応援団: はじめての「卒業論文」ラクラク基本マニュアル』クラブハウス、2000.7
- 5)小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』講談社、2002.4(講談社現代新書、1603)
- 6)野口悠紀雄『「超」文章法—伝えたいことをどう書くか』中央公論社、2002.10(中公新書、1662)
- 7)学習技術研究会編著『知へのステップ 改訂版 大学生からのスタディ・スキルズ』くろしお出版、2006(CD-ROM付)
- 8)佐藤望、湯川武、横山千晶、近藤明彦『アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門』慶應義塾大学出版会、2006
- 9)小原芳明監修、玉川大学コア・FYE教育センター編『大学生生活ナビ』玉川大学出版部、2006
- 10)中澤努、森貴史、本村康哲編『知のナビゲーター』くろしお出版、2007(DVD付)
- 11)松本茂、河野哲也『「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』玉川大学出版部、2007
- 12)世界思想社編集部編『大学生 学びのハンドブック』世界思想社、2008
- 14)佐藤智明、矢島彰、谷口裕亮、安保克也編『大学 学びのことはじめ——初年次セミナーワークブック』ナカニシヤ出版、2008
- 15)天野明弘、太田勲、野津隆志編『スタディ・スキル入門』有斐閣、2008
- 16)専修大学出版企画委員会編『改訂版 知のツールボックス 新入生(フレッシュマン)援助集』専修大学出版局、2009
- 17)初年次教育テキスト編集委員会編『フレッシュマンセミナーテキスト——大学新入生のための学び方ワークブック』東京電機大学出版局、2009
- 18)田中共子編『よくわかる学びの技法 第2版』ミネルヴァ書房、2009

◎テーマ設定とアンケート調査

- 19)桑田真澄・平田竹男共著『野球を学問する』新潮社、2010.3.
- 20)桑田真澄『心の野球 超効率的努力のススメ』幻冬舎、2010.6.
- 21)桑田真澄『野球の神様がくれたもの』ポプラ社、2011.3.

【7】使えるサイト

(1)タイピング

- ・タッチタイピングを目指そう: http://www.sharp.co.jp/mebius/pcstudio/manabu/typing/typing_1.html

(2)論文作成

- ・Lycos / ディレクトリ / 資料・情報源 / 論文の書き方 <http://www.csg.is.titech.ac.jp/~chiba/writing/>
- ・小論文の書き方・レポートの書き方 論文の書き方: <http://shouronbun.com/>
- ・卒論応援団 <http://www.bekkoame.ne.jp/i/isw/thesis/int.html> (2010年廃止!)

以上■ (2012.7.11 作成/7.15 増補)